

## 青森県秋季高校野球

# きょう準決勝

## 光星、弘前工と激突

第77回秋季東北地区高校野球青森県大会第6日は21日、八戸長根球場で準決勝2試合を行う。県南勢で唯一駒を進めた八学光星はノーシードから勝ち上がった弘前工と激突。夏の甲子園ベスト4の青森山田は春季王者の弘学聖愛と対戦する。3位までに与えられる東北大会出場権を懸けた熱戦が展開されそうだ。

八学光星は東義や弘前東など実力ある津軽勢との競り合いを制して4強入りした。新チームは小技や機動力も駆使しつつ、全3戦連続本塁打の3番久保諒之輔が打線をけん引。制球力が高い左腕柴田煌輝と期待の1年生右腕・北口晃大の力投も光る。

対する弘前工は3回戦で8強シードの青森商を1-0で撃破。主戦の工藤渉が25回無失点と好投しており、中澤奎斗、小枝瑠之介ら中軸の出来次第で、14年ぶりの東北大会出場も視野に入る。

青森山田は聖地で力を示した主戦の下山大昂、不動のリードオフマン佐藤洸史郎、高い走力で守備範囲の広い中堅手佐藤隆樹らが健在。特に佐藤洸は2戦連続アーチと調子を上げ、夏の青森王者の貫禄を見せる。

弘学聖愛は初戦でウルスラに苦戦したが、その後は快勝続き。主将の丸岡侑太郎や打率6割の湊鵬真ら計算できる打線が、左腕芦川丈治をもち立てられるかが鍵を握る。

荒天の場合、翌日以降に順延となる見通し。

（桑田友人）